



第29回

栄仁会 ドキュメント The 舞台裏



当院の舞台裏を潜入レポートする本企画。
今回はA3病棟の看護師・浅井さんの
一日に密着取材してきました。

今回ご協力いただくのは、当院A3(精神科救急)病棟の看護師・浅井さん。その多忙な一日を紹介していきたい。

夜勤帯からの申し送り

病棟看護師さんの日勤は朝8時半から始まる。
まず行われるのは夜勤帯からの申し送りだ。ここでは患者さんに関する重要な伝達事項が担当ごとに引き継がれる。

朝のバイタルチェック

申し送りが終わると、朝のバイタルチェックが慌ただしく始まる。
看護師さんが担当の患者さんを訪室して、手分けしてバイタルをチェックしていく。浅井さんが本日担当する患者さんは21名とのこと。
基本は体温と脈拍、血圧の3つだが、必要に応じて酸素飽和度なども測定される。
同時に気分をうかがったり、表情を見たりして、気になる患者さんがいれば申し送りするという。

全体の申し送り

9時からは30分ほど時間を取って、全体の申し送りが行われる。
入院している患者さん全員について、気になるトピックスや今後の方向性などについて情報が共有されていく。

点滴処置

こうして申し送りが終わった9時半からは、点滴が必要な患者さんへの処置など、病棟業務に追われる浅井さんだった。
点滴を受ける患者さんのご厚意で、点滴処置の撮影をご許可いただいたが、「撮られてると緊張してしまう。刺せないかも……」と浅井さんを困らせてしまいチョット反省。

シーツ交換

数名の患者さんの点滴処置が無事終わると、次はシーツ交換だ。
毎週水曜の午前、全ベッドのシーツと布団カバーが交換される。
この作業は2名1組でやるのが効率的らしく、浅井さんも相方の看護師さんと協同して手際よく交換していく。

リーダー会議

全室のシーツ交換が終わって一段落したのも束の間、すぐにリーダー会議へと向かわれた。
浅井さんは今季、病棟スタッフを4区分する各モジュールのうち、Bモジュールのリーダーを担当しておられるのだった。
現場のスタッフが感じている問題点をあげて師長も交えて検討したり、共



各リーダーも師長も身を乗り出す白熱の会議！



2名1組でやるのが効率的なシーツ交換



点滴処置の様子



点滴の準備をする浅井さん

午後の心理教育プログラム

有した改善点をモジュールの各スタッフにおろしたりするのがリーダーの役割だ。
こうして午前中はアツという間に時間が過ぎて昼休みとなった。

この日の午後は、心理教育プログラム「のんびり勉強会」にA3病棟の患者さんと看護師さんも参加されると聞き、同行して見学させてもらうことにした。
このプログラムでは、心の病気への理解を深めながら、さまざまな対処法や利用可能なサービス等についても学んでいく。スタッフだけでなく、ピアサポーターさん達も来て、いろんな説明や講義をしてくださる幅広い勉強会だ。

お仕事への思い

「お仕事で苦労されることはありませんか？」
「患者さんとの関わり方に正解がない点でしょうか。その時々状況によって対応は変わってきますが、相手の立場にたって信頼関係を築くことを常に意識しています」
「お仕事のやりがいは何でしょう？」
「入院されて数日で、驚くほど改善される患者さんを目の当たりにすることがあります。患者さんの回復力を実感するとともに、少しでもそのお手伝いができていたらと思うと嬉しいですね」
「お仕事以外でも、楽器演奏に天体観測に昼飲みにと才気あふれる浅井さん、これからも素敵な看護師さんとして活躍ください!!」
(取材と原稿 ▼ 臨床心理士・名倉)

取材協力



浅井 真穂 (あさい まほ)



心理教育プログラム「のんびり勉強会」